

新山 勝久 議員



一括質問方式

- ① 学校給食センター
- ② コロナ禍によるひとり親対策
- ③ 山鳥坂ダム
- ④ 大成橋

学校給食センターについて

問 学校給食費の公会計化を実施しているのは全国で26%にとどまっている。大洲市でも給食費の公会計化に向け学校給食費の条例制定を今議会に上程しているが、導入目的や効果、今後のスケジュールをお伺いする。

答 学校給食費の会計処理上の扱いとしては、地方公共団体で管理する公会計と、教職員が給食費の収納業務を行い学校の口座で管理する

私会計の2つの種類があり、本市では私会計方式を取っています。公会計化の導入目的は、学校で行っている収納業務が教職員の長時間勤務の一因であり、公会計化することで教職員の働き方改革をしようとするものです。

また、保護者にとっては、給食費の口座引き落としについて、学校が指定する以外の金融機関からも選べるため利便性が向上します。そのほか、給食費の安全管理や透明性の確保、さらに食材購入費の予算化により安定して食材調達できるなどの効果があります。

今後は、給食費管理システムの構築を進め、給食費の徴収方法など、必要な手続に関する規則等の制定を行い、来年4月からの運用開始に向けて準備します。

コロナ禍によるひとり親対策について

問 コロナ禍による日本経済の衰退は、特にひとり親世帯の家計に大きく影響を与えているが、資金支援はどうしているか。

答 ひとり親世帯への支援は、児童扶養手当等受給者や未申請者を

対象に国のひとり親世帯臨時特別給付金として1世帯5万円、第2子以降3万円を支給しています。さらに、収入が減少したひとり親世帯には、児童扶養手当の申請の際に確認し、追加給付として1世帯5万円を支給しています。未申請の方は、令和3年2月末までに収入が減少した場合には申請することができます。

また、市独自の支援策として国の給付金に上乘せする形で1世帯3万円の大洲市ひとり親家庭応援金を支給しています。

ひとり親家庭は仕事や住居、養育など、様々な課題に直面し、経済的、社会的に不安を抱えておられる方が多いことから、地域の相談役である民生児童委員をはじめ、福祉関係機関と連携、情報共有することで、ひとり親世帯が地域社会で孤立しないよう見守り活動を継続するとともに、経済的には国の3次補正予算などの動向を注視しながら、支援策を検討します。

大成橋について

問 大成橋の現在までの工事の経過と完成予定などをお伺いする。

答 大成橋は平成30年7月豪雨により全ての橋桁と橋脚が流出するなど、甚大な被害を受けたため、技術的支援を依頼する形で、愛媛県へ復旧工事を委託しています。大成橋を利用されていた皆様、特に大川地区の皆様には長期間にわたりご不便をおかけしていますが、大成橋の復旧は地域の復興の柱として重要なものですので、県も総力を挙げて復旧に取り組んでいます。

現在、橋梁下部工5基のうち3基が完成し、上部工の鋼製橋桁も製作中であり、残る2基の橋脚や橋桁の架設等についても出水期の施工が制約される厳しい条件のもと、令和3年末頃の完成を目指して全力で取り組んでいます。

工事中の大成橋

